

「NISE 学びラボ」研修の手引き（試案）に関するアンケート結果について

令和5年8月

国立特別支援教育総合研究所 研修事業部 資質向上支援担当

国立特別支援教育総合研究所では、令和5年3月に「NISE 学びラボ」を、各自治体の教育委員会、教育センター、学校等における教職員研修等で、より効果的に活用していただくための「研修の手引き（試案）」を作成しました。

本アンケートは「研修の手引き（試案）」の内容等に関する意見を聴取することを目的として、令和5年4月～5月に、全国の都道府県・指定都市教育委員会及び教育センターに悉皆で実施し、33都道府県・指定都市の42機関（教育委員会27、教育センター15）より回答をいただきました。

質問1 「研修の手引」をご覧ください、貴自治体で「講義動画を用いた教職員研修」を推進する上で参考となった内容はありましたか。ある場合、それはどの内容でしょうか。

選択肢のうち、「NISE 学びラボを用いた教職員研修の事例」、「NISE 学びラボ講義コンテンツ一覧」、「NISE 学びラボを活用した集合研修・演習の提案」が多いという結果が示されました。

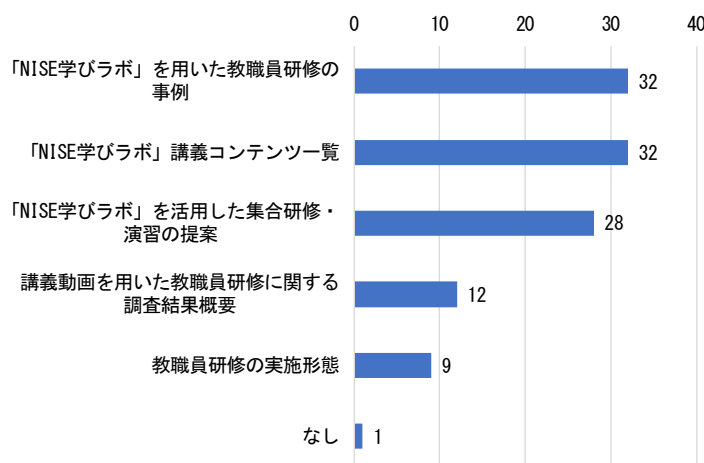


図1 質問1への回答結果（n=42 複数回答あり）

質問2 今後、貴自治体における教職員研修で「NISE 学びラボを活用した集合研修・演習」を活用したいと思いませんか。

選択肢のうち、「段階的に活用を検討していきたいと思った」が多いという結果が示されました。

「検討していきたい」と回答した機関の中には、既にNISE 学びラボを活用している機関もあり、「初任者研修の一部の代替措置として、NISE 学びラボのコンテンツを活用させていただきました。（中略）様々な場面で活用を検討できると思いました。」「研修講座等の資料作成に、学びラボを活用していたが、今後はさらにこの手引きを参考にして、集合研修等での活用を検討していきたい。」など、集合研修における活用を検討していきたいという意見がありました。

「活用したいと思うが、具体的な活用場面が想定できない」と回答した機関からは、「本県ではまだ、実績が無いため、他県の情報を参考に他機関へも情報発信していきたい。」「各研修会等と一層関連を図り、活用が可能になると考えます。」等の意見がありました。

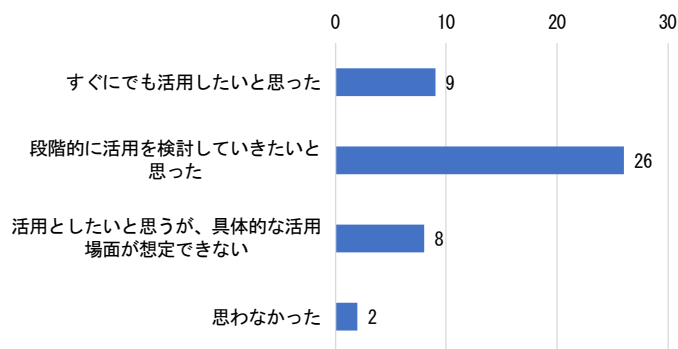


図2 質問2への回答結果 (n=42)

(※ 単一回答の設問ですが、一部の機関から複数回答があったため、回答数の合計が45となっています)

質問3 「NISE 学びラボを活用した集合研修・演習」について、貴自治体で活用したい場面はどれですか (質問2で「思わなかった」を選択した場合は回答不要)。

選択肢のうち、「校内研修」、「自己研鑽研修」、「特別支援教育コーディネーター研修」が多いという結果が示されました。「その他」では「特別支援教育新規担当教員研修会」、「臨時的任用教員研修」「教育支援員等の研修」などが挙げられました。

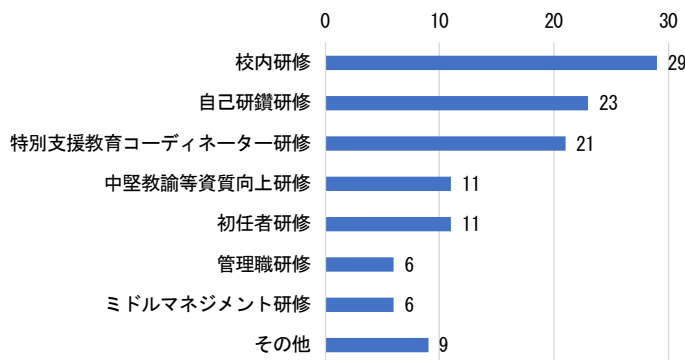


図3 質問3への回答結果 (n=40 複数回答あり)

質問4 今後、「NISE 学びラボ」に関して提供してほしい情報や開催を希望するイベント等がありましたら、教えてください。

選択肢のうち、「集合研修に活用できる NISE 学びラボのコンテンツの充実」が多いという結果が示されました。「コンテンツの充実」を挙げた回答者からは、「NISE 学びラボ講義コンテンツ一覧において、コンテンツ名の他に、対象者や講義の難易度などの記載があるとさらに活用しやすくなると思います。」など、活用に向けての情報の整理を求める意見や、「NISE 学びラボを活用した集合研修・演習について、コンテンツをより充実いただくことを希望する。」など、講義コンテンツそのものの内容充実を求める意見がありました。

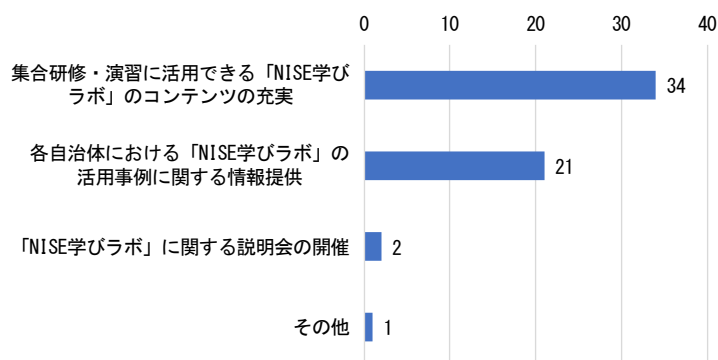


図4 質問4への回答結果 (n=42 複数回答あり)

質問5 その他、「研修の手引」をご覧いただいたご感想やご意見がありましたらご記入ください。

(掲載にあたり、一部、表現等の修正を行いました)

研修の手引き（試案）全般について

- ・ とても分かりやすくまとめられているので、手引きとして活用しやすいものになっている。
- ・ 本手引を通して、具体的な事例や各コンテンツの特長について理解することができ、研修において「NISE 学びラボ」を活用させていただくイメージをより明確にもつことができた。
- ・ 本県が、通常の学級担任等、経験の浅い教員の研修機会拡大のために作成した校内研修用の研修資料「特別支援教育校内研修プログラム集」の中で、「NISE 学びラボ」のホームページを紹介しており、県内の各学校・園での研修等で活用している。今後「研修の手引」が完成したら、同じく紹介したい。
- ・ 他機関でのコンテンツの活用事例や、インクルDBを活用した研修の進め方等、コンテンツの様々な活用の仕方が、丁寧に紹介されており、大変参考になる。

教職員研修の実施形態、事例に関する内容について

- ・ 教職員研修の実施形態について、メリットやデメリットが掲載されており計画立案の参考になった。
- ・ 「NISE 学びラボ」を活用した教職員研修の事例が参考になった。これらの事例について、会議等を通して市町村教育委員会にも周知し、活用を推進していきたい。
- ・ 事例紹介を通して、具体的な活用方法を知ることができた。掲載されている事例の他にも紹介してほしい。
- ・ 教職員研修を実施する際に「NISE 学びラボ」を活用した研修を検討していきたい。
- ・ 今後コンテンツを利用した研修の事例が増えてくることから、研修等の事例を数多く紹介してもらいたい。
- ・ また、コンテンツ一覧の内容が豊富で様々なニーズに対応できるものとなっている。今後も、学校現場のニーズに応じた内容を増やしてもらいたい。

- ・ 今後、コロナ禍の状況変化により、研修形態も多岐にわたることが考えられる。本資料の活用により、より柔軟な工夫が可能となると思われる。特に、各教員や各学校が課題やニーズに応じて、自己研鑽研修、校内研修として積極的に活用できるよう、さらに周知されていくと良い。

「NISE 学びラボ」を活用した集合研修・演習について

- ・ インクル COMPASS を活用したいと考えていたので、研修や演習の例は参考になった。本県の研修を担当している教育研修センターとも連携し、今後、「NISE 学びラボ」を活用した研修を企画したい。
- ・ 今回、集合研修での活用の提案があり、様々な場面で活用を検討できると思われた。特に演習のシートなどもあり、センターでの研修だけでなく、校内の研修においても取り入れやすいと感じた。今後、演習・ワークの形を盛り込んだコンテンツを充実してもらえると、大変ありがたい。
- ・ 学びラボを活用した集合研修・演習の提案では、多様な研修の可能性を知ることができた。
- ・ 知識を学ぶ研修は全国共通のオンデマンド講義で行い、それぞれの課題について参集して対話的に学び合うという研修の方向性について学べた。今後の研修講座の運営に生かしていきたいと思う。
- ・ 動画コンテンツを活用した集合研修や演習の工夫についても、今後活用場を検討していきたい。
- ・ 集合研修（学校課題解決型）の動画活用（配信）の効率性に関して可能性が広がっていると感じた。また、教員の学びも個別でなく、重要課題に学校が組織的・効率的に取り組まなければならないと感じている。
- ・ ハイブリット型研修で事前に学んだ内容を基にオンラインミーティングで協議を深めるなど効果的な取り組みだと感じた。
- ・ これまでは、研修講座等の資料作成に「学びラボ」を活用していたが、今後はさらにこの手引きを参考にして、集合研修等での活用を検討していきたい。また、レベル3（行動変容）、レベル4（成果）の効果的な評価の具体的な方法について、今後知りたいと思う。
- ・ 「NISE 学びラボ」を活用した集合研修・演習について、コンテンツがより充実することを希望する。

「NISE 学びラボ」の内容、コンテンツ一覧について

- ・ 特別支援教育全般や学習指導要領に基づく基本的な内容等について、様々な学校種の研修、会議等の場で、同質の内容を共有できるのは有効である。
- ・ 学びラボの講義動画は今年度の研修講座から利用している。さらに当センターで積極的に利用周知し各校の校内研修等にも活用するよう働きかけたい。
- ・ 本県においても、動画を積極的に活用していきたい。
- ・ 研修プログラム一覧やコンテンツ一覧がニーズに合わせて、視聴したい動画が一目で分かるので研修に活用する際の手引きとして活用しやすいと思った。
- ・ コンテンツ一覧では、コース別にコンテンツ名が整理されており、必要性や内容に応じて活用しやすいものになっていると感じた。
- ・ 講義のコンテンツが豊富なため、教員の専門性につながるよう、機会があれば研修の場で周知をしていきたい。
- ・ いつアップされたコンテンツかすぐに分かるとより良いと思う。

- ・ 講義コンテンツ一覧の中に、視聴時間の掲載があると、研修に取り入れやすいと思う。
- ・ 174 あるコンテンツ一覧が大変助かる。ホームページにも掲載があれば検索しやすく有り難い。本自治体でも研修前の事前課題として視聴してもらうなどの活用をしている。
- ・ コンテンツ一覧において、コンテンツ名の他に、対象者や講義の難易度などの記載があるとさらに活用しやすくなると思う。
- ・ 研修プログラムのコンテンツ数が少し多いように思う。2～3コンテンツにグルーピングして、1時間程度で取り組める例を示してあると、より取り組みやすくなるのではないかと思う。

研修事業部 資質向上支援担当から

お忙しいところ、アンケートにご協力をいただきました、都道府県・指定都市教育委員会、教育センターの皆さまに御礼申し上げます。

今回、いただきましたご意見をもとに、「NISE 学びラボ」のホームページに掲載しておりますコンテンツ一覧に、各コンテンツの視聴時間の情報を追加いたしました。「研修の手引き」（試案）につきましても、皆さまからいただきましたご意見等を参考に、今年度中に内容の修正、充実を行ってまいります。

引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。